

山武市市民文集

# 文芸さんむ

— 第 15 号 —



令和 5 年度

山武市教育委員会

艾芸七人む

## 第十五号の発刊に寄せて

山武市教育委員会 教育委員 北 田 昭 雄

生まれてこの方、およそ文芸というジャンルにはあまり縁のなかつた小生が、唯一興味を引いた場面を紹介し、務めを果たさせていただきたいと思います。

それは、高校の現代国語の授業での一コマです。当時の国語の先生が、ヘルマン・ヘッセの「車輪の下」という小説を題材に、生徒たちと読み説くというものでした。その作品はヘッセの自伝的小説と言われており、周囲の期待を一身に背負った主人公、ハンス・ギーベンラートが様々な葛藤の末に、不遇な最期を遂げるまでが描かれているものです。小説のタイトルも気になったのですが、少年の揺れ動く心情を慮るに、当時高校生として強烈なインパクトを受けたことを今でも覚えています。

もう一つは、これも古文の授業で目にした平安時代の歌人で、在原業平の歌。「世の中にたえて桜のなかりせば、春の心はのどけからまし」です。現代語訳では、「この世の中に、全く桜というものがなかつたら、春を過ごす人の心はどんなにのどかであることでしょう」と解されています。六歌仙の一人でもある作者の心情に共感し、年を経るにつれ趣のある歌であると感じづき感じられるこの頃です。そんな歌との出会いも、文学への素養が備わっていたなら、さらに多くの作品に巡り会えたかもしれません。

さて、『文芸さんむ』第十五号までの発刊に至る歴史を省みる時、文化芸術への思いを寄せる人たちの多くの作品に触れることができます。この伝統が絶えることなく紡がれていくことを切に願うものです。改めて、発刊に携わった全ての方々へ、深く敬意と感謝を申し上げ、巻頭の言葉とさせていただきます。

# 目次

第十五号の発刊に寄せて

山武市教育委員会 教育委員 北田 昭雄

## 【詩】

追憶の一億二千万光年……東京都(元井之内)	山下	佳恵	7
細い月の光のように……東京都(元井之内)	山下	佳恵	8
怒らせているのは……美杉野	成毛	せつ	9
祈り―限りなき空に……美杉野	成毛	せつ	10
朝……市原市(元富口)	村上	久江	11
ローカル車は走る……市原市(元富口)	村上	久江	12
ラストドライブ……木原	武藤	初夫	13
親愛なる君たちへ贈る言葉……木原	武藤	初夫	14
四時偶成……九十九里町(元市内在勤)	齊藤	功	15
退職……九十九里町(元市内在勤)	齊藤	功	16
人生……	佐藤美保子		17
過去……	佐藤美保子		18
鳥よ……	遠藤三千代		19
伊勢物語逍遙(その二十五)……	大掛	史子	20
五合庵の良寛……	大掛	史子	22

## 【短歌】

秋の日……	借毛本郷	秋庭	幸子	25
わが心の詩……	横浜市(元山武市民)	朝見	文江	25

## 【俳句】

新たな容……	本須賀	今関	恵子	25
刑部岬……	本須賀	川島	隆	25
免許返納……	戸田	木内	栄子	26
残生……	姫島	木村	和子	26
カレーの味……	小松	斉藤	利治	26
邂逅……	本柏	竹之内	幸子	26
海色の空……	日向台	立川目	陽子	27
日々の事……	富田幸谷	平山	美里	27
ねむの花咲く……	大網白里市(成東短歌会)	深川	義弘	27
河津桜……	大堤	藤代	百合子	27
また初春が来る……	市原市(元富口)	村上	久江	28
身辺……	津辺	安井はる	子	28
無言の叫び……	日向台	山本	陽子	28
おんぶ飛蝗……	白幡	渡辺	幸子	28
花衣……	成東	渡辺美佐	夫	29
追悼 木内栄子様		編集委員会		30
大猛暑……	富田	相葉	正子	33
式部の実……	本須賀	今関	紫苑	33
蝸牛……	森	石橋	八重子	33
日々草……	木原	伊藤	みや子	33
沙羅の花……	森	遠藤	三千代	34
春の色……	木原	鈴木	とし子	34
蟲ども雀ども私ども……	東金市(山武俳句会)	木村	一夫	34

平和……………津 辺 相葉 和子	43
<b>【川柳】</b>	
私の俳句……………高 富 吉村 孝子	40
夏の朝……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 山田由紀子	39
ことば……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 本堂 良衣	39
苔の花……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 藤巻 佳子	39
小さきエンゼル……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 能瀬 五月	39
青山椒……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 戸村真理子	38
備前壺……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 神保ミツエ	38
かすかな風……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 崎谷 弘子	38
四季歳々……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 鵜澤 正信	38
母の五指……………八街市(さんぶの森吟行俳句会) 浅野 重子	37
白芙蓉……………大 堤 藤代百合子	37
羽衣……………埴谷(さんぶの森吟行俳句会) 大掛 史子	37
青岬……………本須賀 川島 隆	37
私の生活……………小 松 竹之内幸子	36
門松……………小 松 斉藤 利治	36
さんむ緑風さわやか……………佐倉市(市内在勤) 稗田 寿明	36
一号二号……………下之郷 平澤千恵子	36
初神籤……………蓮 沼 石橋ゆり子	35
初風……………横芝光町(かずさ俳句会) 向後 寛	35
辻地藏……………九十九里町(かずさ俳句会) 内山 輝子	35
初日の出……………九十九里町(かずさ俳句会) 石橋 利子	35
膝小僧……………九十九里町(かずさ俳句会) 飯塚けいじ	34

野菜作り……………木 原 伊藤みや子	43
ビバ人生……………成 東 乙女	43
前進……………森 遠藤三千代	43
ぬれ煎餅……………本須賀 川島 隆	44
他者の重味……………小 松 斉藤 利治	44
よしなしごと……………借毛本郷 栄	44
ロボット……………木 原 鈴木とし子	44
微笑……………本 柏 竹之内幸子	45
無題……………津 辺 神 蘭光	45
猛暑の日……………大 堤 藤代百合子	45
夏雲……………成 東 ますじ	45
私の川柳……………高 富 吉村 孝子	46

**【評論】**

郷土山武の源流(玉の浦)を辿る……………成 東 金田 弘之	49
真の偉人とは……………五反田 竹内 克隆	53
知るは人生の楽しみ也(三)……………富 田 大高 栄一	56
「夢の浮橋」まで一四年の語り行脚……………	
— 京ことば源氏女房語りの雅びな旅……………埴谷 大掛 史子	60
臺名を被り蝦夷地へ……………寺 崎 戸村 茂昭	63
坂東における藤原氏と源氏……………	
藤原鎌足から源義経まで……………千葉市(元下布田) 田野 圭子	67

中西三郎先生の文藝活動(六)

…九十九里町(元市内在勤) 齊藤 功 71

【短編小説】

南京の果て……………殿 台 吉田 満春  
 交錯の債務履行……………木 原 佐瀬 智 85  
 男の一生「父の自分史」(つづき)……………寺 崎 今出屋謙吉 93

【エッセイ】

野球に情熱を燃やした母子

……………筑西市(元市内在勤) 杉山 千昭  
 井月を追って…車中泊四日の旅……………森 高柳 正彦 99  
 さらばトリフォニー……………五反田 竹内 克隆 104  
 脱走した二人は今…大正生れの独り言……………壇 谷 平出 行雄 107  
 ………………壇 谷 平出 行雄 107  
 三種類の花、ワクワク記……………姫 島 鷗澤美知子 109  
 「ユキノリ」へ冥福を祈る……………小 松 斉藤 利治 113  
 平成の奥の細道……………成 東 渡辺美佐夫 117  
 母へ……………森 遠藤三千代 120  
 日本について……………津 辺 神 蘭光 121  
 私はメモ魔……………私 萩原 正道 122  
 ♪毎日がメモで始まり、メモで終わる♪……………五反田 成毛 節子 123  
 「未病」ご存知でしょうか……………美杉野 成毛 節子 123

編集後記

銀幕の中の悪役たち……………本須賀 川島 隆 124  
 恩師からの手紙…九十九里町(元市内在勤) 齊藤 功 127  
 時の流れとともに……………市原市(元富口) 村上 久江 130  
 外山梅子さん追悼……………  
 —遙かな歌の旅を終えられて……………壇 谷 大掛 史子 132  
 ………………壇 谷 大掛 史子 132  
 文芸さんむとは…………… 133